

WAMは福祉と医療の民間活動を応援します

平成 31 年 4 月 3 日
 独立行政法人福祉医療機構
 経営サポートセンター長 岐部 宏幸
 経営サポートセンター リサーチグループ
 グループリーダー 吉崎 奈美
 担当 小寺・秦 (電話) 03-3438-9932
 (FAX) 03-3438-0371

社会福祉法人経営動向調査 (2019 年 3 月) の結果について

独立行政法人福祉医療機構では、四半期毎 (3 月、6 月、9 月、12 月) に社会福祉法人経営動向調査を実施しています。今回は 2019 年 3 月に実施した本調査の結果についてご報告します。

なお、今回より都道府県別の状況を併せて公開することといたしました。

詳細はホームページ (<https://www.wam.go.jp/hp/guide-keiei-survey-tabid-2274/>) に掲載しております。

1. 調査の概要

- 対象：特別養護老人ホームを運営する社会福祉法人 546 法人
- 調査事項：・社会福祉法人および特別養護老人ホームの業況、資金繰り、従事者数等に関する現在の状況と 3 ヶ月後の先行き予測
 ・社会福祉法人および特別養護老人ホームの設備投資の状況
- 回答数：526
- 有効回答数：526
- 有効回答率：96.3%
- 実施期間：2019 年 3 月 1 日 (金) ~ 2019 年 3 月 22 日 (金)
- 実施方法：Web 上で実施
- 集計方法：DI (景気変動を判断するための指標。各項目の第 1 選択肢の回答割合から第 3 選択肢の回答割合を差し引いて算出) に加工・集計して公表

2. 調査の結果

【設備投資の状況】

- 2018 年度に設備投資を実施した法人は 58.2% で、実施した設備投資の内容は「設備・機材の購入 (介護ロボット除く)」が 45.8%、「大規模修繕」が 24.8%、「ソフトウェア (会計ソフト等) の導入」22.5% 等であった
- 2019 年度に設備投資を計画している法人は 57.0% で、計画している設備投資の内容は「設備・機材の購入 (介護ロボット除く)」が 41.7%、「大規模修繕」が 29.0%、「新規施設の建築」17.7% 等であった

【社会福祉法人の動向】

- 業況の DI は、前回調査より 2%ポイント減少し、 $\Delta 2$ となった
- サービス活動収益の DI は、前回調査より 5%ポイント減少し、 $\Delta 13$ となった
- サービス活動増減差額の DI は、前回調査より 4%ポイント減少し、 $\Delta 20$ となった
- サービス活動増減差額 (黒字・赤字) の DI は、前回調査より 3%ポイント減少し、14 となった
- 資金繰りの DI は前回調査より 6%ポイント減少し、 $\Delta 12$ となった
- 従業員数の DI は前回調査より 3%ポイント増加し、 $\Delta 68$ となった
- いずれの項目においても見通しの数値は低下した

【特別養護老人ホームの動向】

- サービス活動収益の DI は、前回調査より 3%ポイント増加し、 $\Delta 8$ となった
- サービス活動増減差額の DI は、前回調査より 0.5%ポイント増加し、 $\Delta 15$ となった
- サービス活動増減差額 (黒字・赤字) の DI は、前回調査より 1%ポイント減少し、12 となった
- 施設全体の従業員数の DI は、前回調査より 2%ポイント増加し、 $\Delta 65$ となった
- 介護職員の確保の DI は、前回調査より 3%ポイント増加し、 $\Delta 87$ となった
- 人件費の DI は、前回調査より 2%ポイント減少し、 $\Delta 45$ だった
- 稼働率の DI は、前回調査より 4%ポイント減少し、 $\Delta 16$ だった
- 他施設との競合の DI は、前回調査より 3%ポイント増加し、 $\Delta 34$ だった
- 待機者の DI は、前回調査より 3%ポイント減少し、 $\Delta 20$ だった
- 稼働率を除く項目において、見通しの数値が低下した